

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2018年2月）議事録

日 時：2018年2月16日（金）午後5時30分～7時30分

場 所：AP品川 P+Q

出席者：鈴木政登理事長、西平賀昭副理事長、
碓井外幸常務理事、
宇高 潤、大野 誠、小野寺昇、勝村俊仁、
後藤勝正、坂本静男、須田和裕、須永美歌子、
武政 徹、田畑 泉、成田和穂、浜岡隆文、
前田清司、宮地元彦、和気秀文各理事、
清田 寛、小林康孝、定本朋子各監事、
山次俊介第73回大会実行委員長

欠席者：永富良一副理事長、
川原 貴、栗原 敏、下光輝一、竹森 重、
田中喜代次各理事、井上 茂監事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

前回の理事会議事録を理事会開催中に内容確認を行い、訂正等がある場合には申し出て頂くこととし、理事会終了後に承認することにした。

2. 日本体力医学会健康科学アドバイザー新規申請者（追加）について（碓井称号委員長）

日本体力医学会健康科学アドバイザー®の新規申請者1名の氏名リストが提示され、承認された。

3. 選挙制度の見直しについて（鈴木理事長）

資料に基づき、選挙制度の見直しについて報告された。

現在、理事選挙、理事長選挙、評議員会長・監事選挙、副理事長選挙、常務理事選挙まで順次行われており、約4ヶ月間（2015年の場合）を要している。理事任期2年のうち、新理事体制による学会運営期間は1年8ヶ月程度と任期期間が短く、1回の総選挙には130～150万円を費やしている。執行体制の強化および費用削減を検討し、司法書士からの助言も踏まえて選挙の簡略化について以下のように提案がなされた。

1) 理事任期2年、監事任期4年又は2年は、法律で規制されているので、定款の改定は行わない。

2) 理事・評議員会長・監事の選挙を同時に行い、理事24名、評議員会長1名・監事4名の名前を記入・投票する。理事・評議員会長に選出された場合、兼職は可能である。

次いで、理事・監事両職に選出された場合、両者は兼職できないため、当事者の意向を尊重し、順次次点者を繰り上げ当選させる。

3) 理事長・副理事長・常務理事選挙を同じ日に行う。理事に選出された24名を招集し新理事の会を開催し、理事長1名、副理事長2名、常務理事1名を順次選出していく。

4) 理事就任後2年後の選挙は、理事に再任された24名の理事の互選によって、理事長1名、副理事長2名、常務理事1名を順次選出していく。

審議の結果、承認され、9月の社員総会で報告する事となった。

4. シニア会員、学生会員の新設について（鈴木理事長）

資料に基づき、シニア会員、学生会員の新設について報告された。

定年退職による会員数減少抑制および新会員獲得のために、会員種別の新設を検討し、司法書士に確認した所、定款改定には総社員数の2/3以上の出席が必要であるが、定款施行細則を改定するならば、社員総会の出席社員の決議にて会員種別を新設することができる、との回答があった。

そこで、定款施行細則第2章第2条の改正について、以下のように提案がなされた。

第2章 会費

第2条 この法人の会費は、次のとおりとする。

(1) 正会員は、一般会員、シニア会員、学生会員から構成され、会費は次のとおりとする。

一般会員 年額 10,000円

シニア会員 年額 (未定)円

学生会員 年額 (未定)円

#下線：新たに追加した文言

審議の結果、シニア会員、学生会員の新設について検討を進めていくが、シニア会員、学生会員の年会費、シニア会員の評議員資格の継続については、総務委員会で原案をまとめることとし、次回理事会で再度審議する事となった。

5. 体力科学・JPFISM合本製本および保管について（後藤編集副委員長）

資料に基づき、体力科学・JPFISM合本製本および保管状況について、学会誌「体力科学」、「JPFISM」は、創刊号から「体力科学65巻」及び「JPFISM Vol. 5」まで、全て上製本にして編集事務局が保管を行っている。2017年発行の「体力科学66巻」及び「JPFISM Vol. 6」も年6回の発行が終わったため、合本を行う場合の上製本代と保管料が提示され、今後も上製本の継続を続けていきたいと提案がなされた。審議の結果、承認された。

6. 地方会のあり方について

（碓井全国地方会実行委員会業務執行役）

資料に基づき、地方会の抄録掲載料、参加費の取り決めについて報告があり、現在各地方会により、非会員の地方会参加者の抄録掲載料の徴収が異なっていたので、抄録掲載料の徴収について以下の統一案が提案された。

1) 地方会参加費は、各地方会にて金額を決定する。

なお、参加費を徴収する場合は抄録掲載料も加算されることを考慮して金額を決めることとする。

2) 地方会事務局が招聘した講演者の抄録掲載料は、会員種別を問わず徴収を行わない。

3) 会員の抄録掲載料は、無料とする。

4) 非会員の抄録掲載料は、3,000円とする。

5) 非会員の内、大学院生及び学部生の抄録掲載料は、

3,000円とする。

6) 上記抄録掲載料はFirst Authorのみ徴収し、Second Author以下は会員種別を問わず掲載料の徴収を行わない。

審議の結果、承認された。なお、細部については総務委員会と編集委員会でもとめることとし、次回理事会で新たためて報告する事となった。

7. その他

1) ゲノム編集技術を用いた医学研究に関する問い合わせについて(鈴木理事長)

日本医学会連合より、ゲノム編集技術を用いた医学研究に関する質問票が届いたと報告があった。個々の質問内容について本理事会で確認がされ、その結果を日本体力医学会からの回答として提出する事とした。

2) 宮地元彦理事からの報告

宮地理事の所属施設で、身体組成(脂肪、骨、筋肉等)の測定を実施する際、資格をもたない研究者(医師、歯科医師又は診療放射線技師ではない者)が、X線骨密度測定装置を操作していた可能性があり、法令違反の疑いがあるとの報告がなされた。宮地理事が責任者として所属する部門で発生した事案のため、利益相反委員会委員長の進退伺いを理事長に提出したことが報告された。本件については、詳細が解るまでは進退伺いを保留にすることとした。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 総務委員会(武政委員長)

第75回(鹿児島)大会の大会長を検討中である事が報告された。

2) 編集委員会(後藤副委員長)

資料に基づき、以下の内容が報告された。

①「体力科学」誌、「JPFSM」誌の投稿・掲載状況について。

②掲載論文の著者や共著者に企業など民間事業者(法人)の所属者がいる場合のCOIの記載について、「体力科学」誌、「JPFSM」誌への投稿にはCOIへの記載を求めた点について提案があり、承認された。

③「ACSM運動処方」の指針(原書第10版)ACSM

S Guidelines for Exercise Testing and Prescription」について、次回の学会大会に向けて刊行を目指す予定である。

④学術刊行物小委員会より学術刊行物について現状の報告として刊行物の題名と、執筆頂く方の原稿料について、理事会へ照会がなされた。

題名と原稿料については、まず編集委員会で素案を作成後に再度理事会で審議を行うこととした。

⑤編集事務局より、地方会での抄録掲載料について、地方会当番幹事から編集事務局に対して問い合わせが多く来たので、今後は抄録掲載料に関する問い合わせを控えて頂きたいとの要望が出たことが報告された。

3) 学術委員会(碓井委員長)

スポーツ医学研修会実行委員会について、基礎コース、応用コースの日程、講師が決定し、テキスト改訂作業に進んでいることが報告された。

4) FAOPS2019運営委員会(和気委員長)

資料に基づき、FAOPS2019の進捗状況について報告された。

2. 第73回(福井)大会の進捗状況

(山次第73回大会実行委員長)

配布資料に基づき、大会の準備状況について報告された。

会場: AOSSA, ハピリン

会期: 2018年9月7日(金)~9日(日)

テーマ: しあわせ元気な福井でつむぐ体力医学
~QOL維持・向上の運動効果~

3. 第74回(茨城)大会の進捗状況

(前田第74回大会長代理)

大会の準備状況等について報告された。

会場: つくば国際会議場

会期: 2019年9月19日(木)~21日(土)

4. その他

碓井常務理事より、今期は各種委員会委員長の中で理事でない評議員にも委員長がいると説明があり、理事会で意見を聞きたい時には事務局に請求するよう依頼がなされ、最終的に理事長の承認があればオブザーバーとして参加することができると報告された。